

## (2) かんきょうを守る

かんきょうを守るために、水道局ではどのような仕事をしているのでしょうか。

### 水道局の人の話



安全でおいしい水をみなさんにとどけるまでには、川の水を浄水場できれいにしたり、ポンプを使って圧力をかけて水を運んだりしているため、たくさんの電気を使います。

このため、水道局では、節電のための取組を進め、「かんきょうにやさしい水道」を目指しています。

### ●再生可能エネルギーの利用

#### ①太陽光発電

太陽光発電は、太陽の光で電気をつくるため、資源がなくなる心配がなく、かんきょうにやさしい発電です。

浄水場では、広いろ過池の上に太陽電池を取り付けています。また、配水池の上にも太陽電池を取り付けています。



▲ろ過池の上の太陽電池

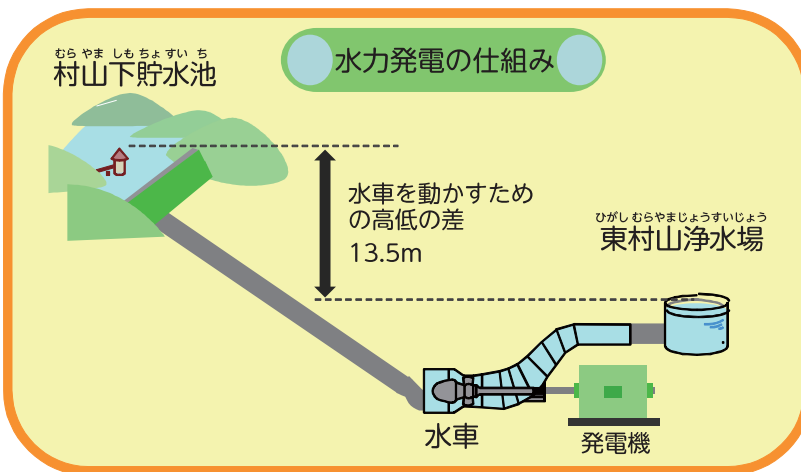


▲配水池の上の太陽電池

#### ②水力発電

水力発電は、水が高いところから低いところへ流れ落ちるときの力を使って電気を作るため、かんきょうにやさしいエネルギーです。

東村山浄水場では、貯水池から浄水場へ水が流れる管の中に水車があります。水車が回ると、つながっている発電機もいっしょに回って、電気が作られます。



水力発電の仕組み (東村山浄水場)



水車

水車は、1分間に何百回も回転しているんだよ！



これらの太陽光発電と水力発電でつくられた1年間の電気の量は、約1,500万kWh（家庭で使う電気約4,000世帯分）になり（平成31（2019）年3月31日現在）、つくられた電気は、それぞれの浄水場などで使われています。

浄水場のどんな所で電気は使われているのかな？



● 漏水（水もれ）を防ぐ取組と節電

水道管の漏水を放っておくと、大切な水がむだになってしまいます。漏水を防ぐため、水道局では、水道管の取替や漏水調査をしています。漏水を防ぐことで、水道水をつくり、みなさんのところにとどけるために使うエネルギーがより少なくなるため、節電につながります。

→ 31 ページを見てみよう。



漏水調査の様子

● 漏水率の推移

